

校訓 日新

学校教育目標

- ・美しい心
- ・輝く知性
- ・たくましい体



学校だより3月号
令和3年3月19日
都留第二中学校
文責：齋藤利和

この一年を振り返ると、非常に大変な一年でした。

四月の緊急事態宣言による長い臨時休校から始まり、途中、分散登校、クラスを2つに分けた少人数授業等を行いました。再登校からは、子どもの命を守るために安全・安心を重点課題に位置づけ、生徒が安全に通える学校、保護者が安心して通わせられる学校を築くために、全職員一丸となって、全力で取り組みました。

また、遅れた授業時間を取り戻すために、時間割を工夫したり、夏休みを短くしたりしました。部活動が再開されて6月 分散登校による少人数授業も、ステージ1からの活動で、通常の活動になるまでにはかなりの日数を要しました。

新しいかたちの石花海祭、新しいかたちの修学旅行・校外学習など、全ての行事が新しいかたちになりました。

このような大変な一年ではありましたが、本校がこれまで継続してきた教育活動を根本的に見直す良い機会にもなりました。コロナと正面から向き合い、コロナを正しく理解し、感染対策を徹底する中で、本校の教育活動を丁寧に進めてきたことは、大きな成果であったと感じています。次年度も、まだまだ先行き不透明な状況が続くと思われますが、しっかりと前を向いて、一歩一歩進んでいきたいと思います。

この一年、保護者の皆様、地域の皆様には、大変ご心配をおかけしましたが、様々な場面でご理解・ご協力をいただき心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

『三年生を送る会』を開催しました！

3月9日（火）に、三年生を送る会（三送会）を開催しました。今回は、感染対策のため、新生徒会が作成した映像を3年生が体育館で鑑賞し、当日の3年生からのメッセージを映像に撮り、後日1, 2年生が3年生のメッセージを鑑賞するというかたちをとりました。

三送会は、新生徒会にとって初めての生徒会行事です。また、1, 2年生がひとつにまとまって取り組む初めての行事です。コロナ禍ではありますが、テーマ「Next Stage」を掲げ、「3年生に感謝の気持ちを伝えるために、どうしたらよいのか。」を、みんなで知恵を出し合い、工夫をこらしながら取り組んできました。

本番では、実行委員長の話からはじまり、部活動メッセージや1学年発表、2学年発表がありました。どの発表も、先輩への感謝の気持ちがたくさん詰まった温かい発表でした。

3年生からは、当日の日付と同じ曲名の「3月9日」が、後輩たちに贈るための合唱として熱唱されました。

後日、映像で3年生の合唱を鑑賞した1年生が、「3年生の合唱は、声が大きくハーモニーがきれい。迫力があって格好いい。大人の合唱を聴いているみたい。」などの感想を述べていました。

プログラムに書かれた実行委員長のあいさつ文には、「3年生は、自分たちで考えて行動し、何事にも真剣に取り組む姿がとても格好良かったです。」とありました。このあい



三送会の様子（体育館）

さつ文は、「今年の3年生をうまく表現しているなあ」と感じました。



スクリーン映像を鑑賞する3年生



合唱曲「3月9日」を唱う3年生



1, 2年生からのメッセージ

第55回卒業証書授与式を挙行しました！

3月11日（木）に、第55回卒業証書授与式を挙行しました。この日は、朝から青空が晴れ渡り、桜のつぼみも大きくふくらみ、春の訪れを感じさせるさわやか一日になりました。

このような春らしい暖かな空気に包まれる中、105名の卒業生が本校を巣立ちました。

感染対策のため様々な制限がありましたが、卒業生の態度は最後まで立派で、三年間仲間と共に過ごした学び舎を巣立つそれぞれの熱い思いが伝わってくるような卒業式でした。

コロナ禍であっても、「こんなに素晴らしい卒業式ができるんだ。」と、心からうれしく思いました。

卒業生は、2年生の時に平成から令和へとうつり変わる新たな時代の幕開けに立ち会う貴重な体験をしました。また、最後の一年間は、コロナ禍で、様々な活動が制限される中、最高学年として、「コロナには絶対に負けない」という強い意志をもち、新しい生活様式を確立し、常に前を向いて、全校を力強く引っ張ってくれました。卒業生たちの残してくれたものは、本校の大きな礎になりました。

卒業式後、校庭で待つ父母に、卒業生が学年合唱をプレゼントしました。この一年間は、本校の伝統である合唱活動が一切できず、特に合唱が大好きだった卒業生たちは、合唱ができない悔しさや淋しさをたくさん感じていたことと思います。最後の最後に、合唱が唱えたことは卒業生たちの一生の想い出になったことでしょう。

これまで育ててくれた父母に感謝の気持ちを込めて、「いのちの歌」が、空高く響き渡りました。きっと感謝の気持ちは届いたと思います。

実は、先生たちにも「仰げば尊し」のサプライズがありました。先生たちに気づかれないように内緒で練習していたようです。久しぶりに聴く「仰げば尊し」は、私たちの心にしみいりました。卒業生のみなさん、本当にありがとうございました。



学校長式辞



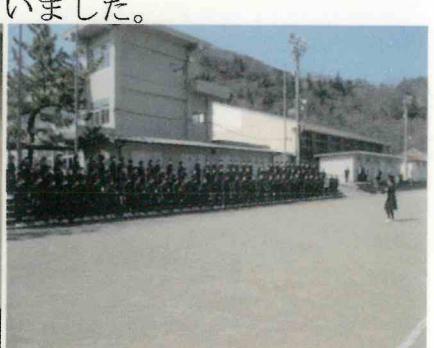
卒業証書授与



答辞 3年長田大空さん



送辞 2年井上愛斗さん



最後の3学年合唱「いのちの歌」